

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (サウンドクリエイターコース)											
資格対策講座 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	藤義隆			実務 経験	無	職種					
授業概要											
ビジネス能力検定（B検）ジョブパス、JPPA映像音響処理技術者試験、ProTools、イベント検定試験、MIDI検定、MOSなどの資格受験対策講座です。											
到達目標											
自ら積極的に参加し、演習問題や演習実技をおこない本番でも十分対応できるスキルを身につける。資格試験に合格し仕事の領域を広げるとともに各々の可能性を高める。将来、広く業界で活躍できる人材となることを目標とする。											
授業方法											
それぞれの資格に沿った基礎知識を学んでいく。基礎知識をもとに基礎演習、応用演習、試験対策演習を行ってゆく。また、実技試験のある資格試験に関しては、基礎実習、応用実習、試験対策実習を行う。演習、実習ともに試験合格となるポイントの確認を繰り返し本番の試験で合格出来るように授業を進めてゆく。また、資格によっては安全面が重視される物もあるので安全対策をしっかりと行う。											
成績評価方法											
＊出席率、積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。											
教科書教材											
資格対策用プリント、各種資格検定対策本											
回数	授業計画										
第 1 回	基礎講座（１）資格に伴う基礎講座を行い基礎知識を習得する。										
第 2 回	基礎講座（２）資格に伴う基礎講座を行い基礎知識を習得する。										
第 3 回	基礎講座（３）資格に伴う基礎講座を行い基礎知識を習得する。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 (サウンドクリエイターコース)	
資格対策講座 3	
第4回	基礎講座(4) 資格に伴う基礎講座を行い基礎知識を習得する。
第5回	基礎演習問題(1) 基礎講座をもとに演習問題を解き理解する。
第6回	基礎演習問題(2) 基礎講座をもとに演習問題を解き理解する。
第7回	基礎演習問題(3) 基礎講座をもとに演習問題を解き理解する。
第8回	応用演習問題(1) 応用問題の演習を行い理解を深める。
第9回	応用演習問題(2) 応用問題の演習を行い理解を深める。
第10回	応用演習問題(3) 応用問題の演習を行い理解を深める。
第11回	資格試験対策問題(1) 資格試験対策問題として難易度の高い演習を行い理解する。
第12回	資格試験対策問題(2) 資格試験対策問題として難易度の高い演習を行い理解する。
第13回	資格試験対策問題(3) 資格試験対策問題として難易度の高い演習を行い理解する。
第14回	資格試験対策実技(1) 資格試験の実技対策が出来る。
第15回	資格試験対策実技(2) 資格試験の実技対策が出来る。

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)											
資格対策講座 3											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	藤義隆			実務 経験	無	職種					
授業概要											
ビジネス能力検定（B検）ジョブパス、JPPA映像音響処理技術者試験、ProTools、イベント検定試験、MIDI検定、MOSなどの資格受験対策講座です。											
到達目標											
自ら積極的に参加し、演習問題や演習実技をおこない本番でも十分対応できるスキルを身につけることを目標とする。資格試験に合格し仕事の領域を広げるとともに各々の可能性を高める。将来、広く業界で活躍できる人材となることを目指します。											
授業方法											
それぞれの資格に沿った基礎知識を学んでいく。基礎知識をもとに基礎演習、応用演習、試験対策演習を行ってゆく。また、実技試験のある資格試験に関しては、基礎実習、応用実習、試験対策実習を行う。演習、実習ともに試験合格となるポイントの確認を繰り返し本番の試験で合格出来るように授業を進めてゆく。また、資格によっては安全面が重視される物もあるので安全対策をしっかりと行う。											
成績評価方法											
＊出席率、積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。											
教科書教材											
資格対策用プリント、各種資格検定対策本											
回数	授業計画										
第 1 回	基礎講座（１）資格に伴う基礎講座を行い基礎知識を習得する。										
第 2 回	基礎講座（２）資格に伴う基礎講座を行い基礎知識を習得する。										
第 3 回	基礎講座（３）資格に伴う基礎講座を行い基礎知識を習得する。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)	
資格対策講座 3	
第4回	基礎講座 (4) 資格に伴う基礎講座を行い基礎知識を習得する。
第5回	基礎演習問題 (1) 基礎講座をもとに演習問題を解き理解する。
第6回	基礎演習問題 (2) 基礎講座をもとに演習問題を解き理解する。
第7回	基礎演習問題 (3) 基礎講座をもとに演習問題を解き理解する。
第8回	応用演習問題 (1) 応用問題の演習を行い理解を深める。
第9回	応用演習問題 (2) 応用問題の演習を行い理解を深める。
第10回	応用演習問題 (3) 応用問題の演習を行い理解を深める。
第11回	資格試験対策問題 (1) 資格試験対策問題として難易度の高い演習を行い理解する。
第12回	資格試験対策問題 (2) 資格試験対策問題として難易度の高い演習を行い理解する。
第13回	資格試験対策問題 (3) 資格試験対策問題として難易度の高い演習を行い理解する。
第14回	資格試験対策実技 (1) 資格試験の実技対策が出来る。
第15回	資格試験対策実技 (2) 資格試験の実技対策が出来る。